

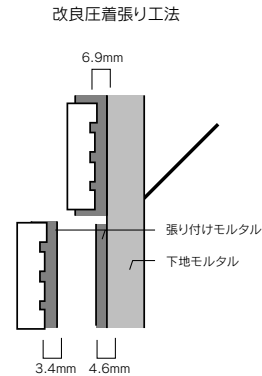
technical date tile [レンガタイル]

改良圧着張り

下地を作成して張り付けモルタルを下地に塗布し、さらにタイルに張り付けモルタルを塗り付けて張る工法。圧着張りに比べて施工能率は多少下がるが、塗置き時間の影響を受けにくいいため、接着力が大きく安全な工法である。

(改良圧着張りのポイント)

- (1) タイル側への塗付けは空隙ができないように、タイル裏面全体に張り付けモルタルを塗る。
- (2) 下地側へ塗り付けた張り付けモルタルは30分程度放置して、張付けたタイルがずれない状態になってから張り始める。
- (3) 下地側の張り付けモルタルの塗置き時間は、2時間以内とする。

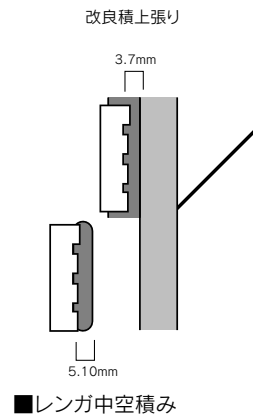


改良積上げ張り

モルタル下地面を精度良く仕上げ、裏面に所定の厚さのモルタルを塗布したタイルをこの下地面に押し付けて張る工法。

(改良圧着張りのポイント)

- (1) 空隙ができないようにタイル裏面全面に張り付けモルタルをのせる。
- (2) モルタルを塗ったタイルは、できるだけ早く張り付ける。
 - ・5分以内に張り付ける。
 - ・直射日光には当てない。



密着張り

専用の振動工具を用いてタイル面を押さえ、張り付けモルタルに振動を加えることにより、もう一度軟らかくしてタイルとモルタルをなじませ、さらに確実にタイルをモルタルに埋め込ませるために目地部に盛り上がったモルタルを目地ごとで押えて仕上げる工法。塗置き時間の影響がまったくないわけではないのでこの点の注意が必要である。したがって、適用するタイルの大きさは小口平～二丁掛け程度の大きさとし、あまり大きなタイルや重いタイルには適用しない。

(密着張りのポイント)

- (1) 施工直前に十分な水湿しを行う。
- (2) 2度塗りで、張り付けモルタルを塗り厚5～8mmに塗り付ける。
- (3) 張り付けモルタルの1回の塗付け面積は、2m²程度とする。
- (4) くし目ごては使用しない。
- (5) 張り付けモルタルがタイル面まで盛り上がるように、タイルを押さえ込む。
- (6) タイルの張付けは1段置きに行う。
- (7) 盛り上がった目地を押さえる。
- (8) 深目地としない。

